

請願第 38号

令和8年 3月10日

川崎市議会議長 原 典之 様

多摩区

中野島町会

会長

ほか 6団体

J R 中野島駅の踏切（中野島第二踏切）の危険解消と北口臨時改札口の利用拡充を求める請願

請 願 の 理 由

J R 中野島駅周辺では、通勤・通学時間帯を中心に駅利用者が踏切へ集中し、安全確保が長年の課題となってきました。この課題に対応するため、2017年（平成29年）12月、市、カリタス学園及びJ R 東日本は「臨時改札口設置等に関する覚書」を締結し、朝夕の通学時間帯に対応した北口臨時改札口が設置され、2019年（令和元年）より運営が開始されました。

その結果、通勤・通学時間帯における利用者動線の分散が進み、踏切横断者の減少及び混雑緩和が実現し、地域住民及び学生の安全確保に大きく寄与していることが確認されています。

実際に、北口側住民の駅利用利便性も大きく向上し、地域生活環境の改善にもつながっています。

しかしながら、現在の北口臨時改札口の開設時間は平日の朝及び夕方の限られた時間帯のみであり、平日の日中及び土日祝日は利用できません。そのため、依然として多くの利用者が中野島第二踏切を横断せざるを得ない状況が生じており、安全面での課題は完全には解消されていません。

また、2026年（令和8年）1月29日のまちづくり委員会における説明では、北口臨時改札口の設置が踏切横断者減少に効果を上げていることが報告され、

今後、利用実態調査や機械警備への転換検証が進められる予定であることが示されました。一方で、橋上駅舎化などの抜本的整備については課題が多く、整備時期の見通しが立っていない状況も明らかになっています。

このような状況を踏まえると、将来の駅整備を待つのではなく、既に効果を実証されている北口臨時改札口の活用を拡充することが、現実的かつ即効性のある安全対策であると考えます。中野島駅は地域住民のみならず、多くの学生が日常的に利用する重要な交通拠点であり、駅利用環境の安全確保は地域全体の安心につながる公共性の高い課題です。

よって、地域住民及び利用者の安全確保並びに利便性向上を図るため、北口臨時改札口の利用拡充及び踏切の安全対策強化を早期に実施されるよう強く要望し、本請願を提出いたします。

請 願 項 目

- 1 JR中野島駅北口臨時改札口の平日における開設時間を延長すること。
- 2 JR中野島駅北口臨時改札口を土日祝日も開設すること。
- 3 JR中野島駅前の中野島第二踏切の危険解消及び中野島駅の利用に関して安全対策を拡充すること。

紹介議員

橋	本	勝
嶋	田	和 明
河	野	ゆかり
市	古	次 郎
重	富	達 也
三	宅	隆 介